

Change

2012年 6月 15日

No.26

J R 東海 労新幹線関西地本

ホームページ: http://www.geocities.jp/jrcu_s_kansai/

メール: jrcu_kansai@ybb.ne.jp

パワハラが職場に蔓延して、
心の病にかかる社員が急増中！！
あなたは大丈夫ですか？！

今、職場では心の病にかかる社員が急増しています！！

心の病になる原因は、いろいろあります。

心に無理なストレスがかかり、そのことが原因で心のバランスを崩し、発病してしまうと言われてしています。しかし、**過度のプレッシャーや上司からのパワーハラスメントによって、心の病にかかる人が増えていて、社会問題となっています。**

ところで、私たちの会社では、「職場内教育」と称して「セクハラ教育」をしていますが、なぜか「パワハラ教育」はしません。それは何故でしょうか？

答えは簡単です。管理者自らが社員に対して「パワハラ」を繰り返しているからです。

社会問題化していることが、私たちの職場で発生しているからです。

聞くとところによると、自分（管理者として）の点数を稼ぐためにQC活動や業務研究（業研）の指導と称して、社員に無理難題を押し付ける管理者がいるそうです。

これは立派な「パワハラ」ではないでしょうか？

管理者の「パワハラ」によって、心の病にかかってしまっても、管理者は謝罪はしません。それどころか、病にかかった社員がそのすべての責任を負わなければなりません。

こんなことが許されていいのでしょうか？！

一昨年、大阪台車検査車両所の若い社員が自らの命を絶つという、痛ましい出来事がありました。理由ははっきりとはしませんが、明らかになっていることは、**管理者から必要以上に作業中に起きた労災について責め立てられていた。**ということなのです。

管理者が「パワハラ」を繰り返すような暗黒の職場では、いつまた同じような社員ができるか分かりませんか？！

些細なミスや不祥事に対して、その全ての責任を本人に押しつけ、面談と称して「辞めてしまえ」と罵声を浴びせ本人を責め立て、恐怖を植え付けることで「会社の言いなりになる社員」をつくっているのです。そのプレッシャーに耐えられずに、会社を去った者や自ら命を絶つ若者が増えています。

私たちJR東海労は管理者による「パワハラ」を絶対に許しません。

悩みを抱えている社員のみなさん、一度、私たちに相談してください。

明るく働ける職場をつくるために、ともに頑張りませんか？！